

2026 年 10 月 9 日
株式会社池田泉州銀行

タイ王国の企業関係者による湯本電機株式会社への工場見学が行われました

～タイ王国大阪総領事館・タイ投資委員会（BOI）大阪との連携による日タイものづくり企業間交流～

2026 年 10 月 6 日（火）、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 阪口 広一）と、タイ王国大阪総領事館およびタイ投資委員会（BOI）大阪が連携のうえ、Thai Subcontracting Promotion Association（以下、「Thai Subcon」）の会員企業関係者 17 名による湯本電機株式会社（大阪市東成区）への工場見学が行われました。

Thai Subcon は、520 社を超えるタイの中小製造業企業等で構成され、国内外でのビジネスマッチングや販路開拓、会員企業の競争力向上等を通じて、タイの製造業の振興に取り組む業界団体です。

今回の工場見学は、Thai Subcon の会員企業関係者が、10 月 7 日から 9 日まで大阪で開催される「第 29 回 ものづくり ワールド [大阪]」への参加のために来日した機会を捉え、日本のものづくり企業の技術や生産現場への理解を深め、日タイ企業間の交流を促進することを企図して実施されました。

当日は、湯本電機株式会社から、事業概要やものづくりへの考え方、サプライヤーとの連携等について説明いただいたほか、本社工場を見学すると共に、活発な質疑・意見交換が行われました。

同社は 1940 年 5 月創業で、ポリエーテルエーテルケトン（PEEK）やチタン等の難削材を中心とした 286 種以上の金属・樹脂の切削加工や、3D プリント技術等を活かした高精度な部品製造を得意とし、製造装置、宇宙機器、産業用ロボット等を構成する精密機械部品を製作しています。

現在は大阪本社、東京営業所、ベトナム工場の 3 拠点で事業を展開し、従業員の約 24%を 8 カ国出身の外国籍社員が占める、国際色豊かな会社です。工場では、旋盤・マシニング設備、自動・無人化設備、手加工・仕上げ工程、品質管理設備等を見学し、サプライヤーネットワークを活用した顧客ニーズへの対応についても紹介されました。

今回は、日タイ双方のものづくり企業間の交流を深める機会となりました。当行は、今後も関係機関とのネットワークを活用し、お取引先企業の海外展開支援や海外企業とのビジネスマッチング等を通じて、大阪・関西と海外とのビジネス交流の促進に取り組んでまいります。



【参加者の皆様との記念写真】

【別紙】

